

## 事業名

大分県大山町特産のうめを活用した  
加工品「高級うめジュース」の開発及び販路開拓

## 連携体

中小企業者：(株)おおやま夢工房(製造業)

農林漁業者：百草工房、マル金ファーム、ながお梅園 (農業)

連携参加者

おおやま梅出荷協議会(任意協議会)、大分県産業科学技術センター、  
(株)ドット・オノックスエムティティ、中村学園大学流通研究所、中村酒販(株)

## サポート機関等

(財)大分県産業創造機構

## 事業概要(連携の経緯、商品等の新規性・市場性・競争力)

## ◆連携の経緯

大山町は、昭和36年、従来の農業と畜産を廃止し、「梅・栗植えてハワイへ行く」を目標に、町をあげて梅・栗を栽培する村おこし運動を展開し、「一村一品運動」の原点となったことでも有名な地域である。しかし、農業を取り巻く厳しい環境下で、農業以外に活路を見出す必要性に迫られていた中、産業間の垣根や官民、自治体の境界を越えた連携・協働を推進する活動母体として、当社「おおやま夢工房」は設立された。



## ◆新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力

既存のうめジュースにはない味・香りはもちろん、安心感・健康感・高級感を併せもつ「飲んだ瞬間違いの分かる」ジュースを開発し、国内外のお客様に訴求していく。

国産原材料のニーズが高まる中で、有機農法栽培の樹園地確保を行い、施肥・減農薬栽培基準設定を行ったこだわりの地元大山町産うめを100パーセント使用し、原材料の安全性・品質の優位性、また、(株)ニッカとの業務提携による高い醸造技術を生かした商品については既に市場から高い評価を受けている。



## 連携体の構成と活用する経営資源

【代表者】

(株)おおやま夢工房

【共同申請者】

河津祐一、黒川正輝、長尾善太郎

生産設備、商品開発

減農薬原料栽培ノウハウ

【連携参加者】

大分県産業科学技術センター

梅果汁利用製品の開発・分析  
と高品質化及び容器、ネーミング等のデザイン開発

ドットオノックス(株)

レシピによる試験製造・  
生産工程の研究

おおやま梅出荷協議会

減農薬原料栽培ノウハウ

中村学園大学流通研究所

新商品の市場分析

中村酒販(株)

販売手法等の助言等

## 期待される地域経済への効果等

- ◆最終製品売上高目標……………1.13億円(平成25年度)
- ◆梅生産者の生産意欲の向上と農業経営の安定化への寄与
  - ・梅生産者に対して市場価格の2~3倍に当たる価格保証制度を実現
  - ・梅の商品化による売上は、取組初年度(H14年度)に比べ8倍強を記録
  - ・梅酒は台湾に輸出しているが、現在、米国や香港等への輸出に向け商談が進行中

## 代表企業等の連絡先

- ◆代表者(所在地):株式会社おおやま夢工房  
(大分県日田市大山町西大山4587)
- ◆電話番号:0973-52-3000
- ◆FAX番号:0973-52-3344
- ◆E-mail:info@hibikinosato.co.jp
- ◆ホームページ:http://www.hibikinosato.co.jp